

科目責任者 石井 一行（衛生化学研究室）

### ■ 教育目的

ビタミンおよびミネラルの生体内での働きについて、欠乏症や過剰症を通して理解する（No.1～4）。生活環境（食品、環境、薬）と疾病の関連性について、疫学研究報告から事例を学ぶとともに、我が国の健康維持・増進対策について理解する（No.5～11）。代表的薬毒物について理解する（No.12～15）。

### ■ 学習到達目標

栄養化学の中で特にビタミンとミネラルについて、健康との関係を説明できる（No.1～4）。

疫学と健康対策について、具体的な事例を使って説明できる（No.5～11）。

代表的薬毒物の代謝、生体影響と試験法を説明できる（No.12～15）。

### ■ 準備学習（予習・復習）

予習：教科書、配布資料に目を通しておく。課題発表の準備をする。

復習：講義内容について整理しておく。

### ■ 授業内容

ビタミンおよびミネラルの生体内での働きについて、欠乏症や過剰症を講義する（No.1～4）。

生活環境（食品、環境、薬）と疾病の関連性について、疫学研究の事例を用いて講義する（No.5～11）。

代表的薬毒物全般について講義する（No.12～15）。

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	栄養化学（1）	ビタミンの欠乏症と過剰症（1）	D1(3)-①-1 D1(3)-①-7,8
2	栄養化学（2）	ビタミンの欠乏症と過剰症（2）	D1(3)-①-1 D1(3)-①-7,8
3	栄養化学（3）	ミネラルの欠乏症と過剰症（1）	D1(3)-①-1 D1(3)-①-7,8
4	栄養化学（4）	ミネラルの欠乏症と過剰症（2）	D1(3)-①-1 D1(3)-①-7,8
5	疫学（1）	食品と健康（1）	D1(1)-③-1,2,3,4
6	疫学（2）	食品と健康（2）	D1(1)-③-1,2,3,4
7	疫学（3）	食品と健康（3）	D1(1)-③-1,2,3,4
8	疫学（4）	環境と健康（1）	D1(1)-③-1,2,3,4
9	疫学（5）	環境と健康（2）	D1(1)-③-1,2,3,4
10	疫学（6）	薬と健康（1）	D1(1)-③-1,2,3,4
11	疫学（7）	薬と健康（2）	D1(1)-③-1,2,3,4
12	化学物質の毒性（1）	化学物質、乱用薬の毒性（1）	D2(1)-①-5
13	化学物質の毒性（2）	化学物質、乱用薬の毒性（2）	D2(1)-①-5
14	化学物質の毒性（3）	化学物質による中毒とその処理	D2(1)-①-6
15	裁判化学	薬毒物の分析法	D2(1)-①-7

### ■ 授業分担者

服部研之（No.1～4）、赤沢 学（No.5～11）、石井一行（No.12～15）、

### ■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

レポート課題：発表 25 %（No.5～11）、期末試験の成績 75 %で評価する。

### ■ 教科書

『薬学情報サイエンス』赤沢 学（京都廣川）及びプリント

「第5版 衛生薬学—健康と環境—」長沼 章・姫野誠一郎 平塚 明 編（丸善）及びプリント